

令和5年度第4回 契約・調達委員会 審査概要

<p>開催日時 及び場所</p>	<p>令和5年10月12日（木）13:26～13:56 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 公益財団法人日本陸上競技連盟内 A会議室</p>														
<p>出席委員</p>	<table border="0"> <tr> <td>世界陸上財団 事務次長（委員長）</td> <td>川瀬 航司</td> </tr> <tr> <td>弁護士</td> <td>原澤 敦美</td> </tr> <tr> <td>公認会計士</td> <td>黒石 匡昭</td> </tr> <tr> <td>世界陸上財団 総務企画部長</td> <td>田近 隆</td> </tr> <tr> <td>世界陸上財団 財務部長</td> <td>前山 琢也</td> </tr> <tr> <td>世界陸上財団 業務開発部長</td> <td>木島 暢夫</td> </tr> <tr> <td>世界陸上財団 競技運営部長</td> <td>徳弘 欣也</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（敬称略・計7名）</p>	世界陸上財団 事務次長（委員長）	川瀬 航司	弁護士	原澤 敦美	公認会計士	黒石 匡昭	世界陸上財団 総務企画部長	田近 隆	世界陸上財団 財務部長	前山 琢也	世界陸上財団 業務開発部長	木島 暢夫	世界陸上財団 競技運営部長	徳弘 欣也
世界陸上財団 事務次長（委員長）	川瀬 航司														
弁護士	原澤 敦美														
公認会計士	黒石 匡昭														
世界陸上財団 総務企画部長	田近 隆														
世界陸上財団 財務部長	前山 琢也														
世界陸上財団 業務開発部長	木島 暢夫														
世界陸上財団 競技運営部長	徳弘 欣也														
<p>審査案件</p>	<table border="0"> <tr> <td style="width: 15%;"> <p>件名 1</p> </td> <td> <p>東京2025世界陸上競技選手権大会ロゴ等作成支援業務委託</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>契約方法</p> </td> <td> <p>プロポーザル方式契約</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>概要</p> </td> <td> <p>○ 東京2025世界陸上の象徴となる大会ロゴを作成し、大会のブランディングを図り、大会の認知度を高めて、大会成功に寄与することを目指す。</p> <p>○ 大会ロゴは広く一般都民・国民から公募するため、以下の業務（主なもの）を委託</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 大会ロゴ公募に係る広報企画の策定・実施</p> <p>② 大会ロゴ公募事務局の運営 ※ 応募要項の作成、問い合わせ窓口の設置、公募サイトの運用等</p> <p>③ 大会ロゴを選定する選定委員会の運営支援 ※ 委員候補の推薦を含む</p> <p>④ 大会ロゴPR動画の制作</p> <p>⑤ 大会ロゴ使用ガイドライン等の作成</p> </div> </td> </tr> </table>	<p>件名 1</p>	<p>東京2025世界陸上競技選手権大会ロゴ等作成支援業務委託</p>	<p>契約方法</p>	<p>プロポーザル方式契約</p>	<p>概要</p>	<p>○ 東京2025世界陸上の象徴となる大会ロゴを作成し、大会のブランディングを図り、大会の認知度を高めて、大会成功に寄与することを目指す。</p> <p>○ 大会ロゴは広く一般都民・国民から公募するため、以下の業務（主なもの）を委託</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 大会ロゴ公募に係る広報企画の策定・実施</p> <p>② 大会ロゴ公募事務局の運営 ※ 応募要項の作成、問い合わせ窓口の設置、公募サイトの運用等</p> <p>③ 大会ロゴを選定する選定委員会の運営支援 ※ 委員候補の推薦を含む</p> <p>④ 大会ロゴPR動画の制作</p> <p>⑤ 大会ロゴ使用ガイドライン等の作成</p> </div>								
<p>件名 1</p>	<p>東京2025世界陸上競技選手権大会ロゴ等作成支援業務委託</p>														
<p>契約方法</p>	<p>プロポーザル方式契約</p>														
<p>概要</p>	<p>○ 東京2025世界陸上の象徴となる大会ロゴを作成し、大会のブランディングを図り、大会の認知度を高めて、大会成功に寄与することを目指す。</p> <p>○ 大会ロゴは広く一般都民・国民から公募するため、以下の業務（主なもの）を委託</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 大会ロゴ公募に係る広報企画の策定・実施</p> <p>② 大会ロゴ公募事務局の運営 ※ 応募要項の作成、問い合わせ窓口の設置、公募サイトの運用等</p> <p>③ 大会ロゴを選定する選定委員会の運営支援 ※ 委員候補の推薦を含む</p> <p>④ 大会ロゴPR動画の制作</p> <p>⑤ 大会ロゴ使用ガイドライン等の作成</p> </div>														

審査結果

案件1について、契約締結前（契約候補者、契約金額）の審査を実施し、了承された。

（案件1について）

○原澤委員

落札率が100%に近いが何か要因があるのか。また、今回の入札で予定価格超過による失格はあったか。

⇒ 事務局

本契約の契約方法はプロポーザル方式契約となるため、企画提案を募集する段階で、案件の業務規模を示す提示額を公表し、その提示額の範囲内で企画提案を競い合うこととなる。このため提示額に近い見積金額となったが、提示額を超過した参加者はいない。

○原澤委員

予定価格に近い価格を提示額として事前に知らせることは、予定価格の事後公表の趣旨に反することにならないのか。

⇒ 事務局

通常の委託契約等では、予定価格の公表は認められていないが、東京都においても、プロポーザル方式契約（企画提案方式）では、契約の上限額となる提示額を示している。

○原澤委員

各評価項目の合計点で採用予定者を決定すると、一つに項目に欠陥があっても他の項目で高い評価を得られれば採用となるため、契約の履行段階で問題が起こりうるのではないかと懸念する。各項目に足切りを設ける必要があるのではないか。

⇒ 所管部

今回の審査方法として、委員による評価順位が最も高い提案者においても、100点満点の評価項目中、一委員でも評価合計点が60点未満もしくは1項目でも0点である場合は、最優秀提案者として選定しない旨を募集要領で公表している。

委員の主な意見
（要旨）

○黒石委員

審査項目のうち、最優秀提案者の「業務実施体制」については、国際的な類似大会の業務実績がなかったということで評価点は低くなっているが、不安を持つほどではなく問題はないと考えているのか。また、その他の提案内容のクオリティは十分だったという理解でよいのか。

⇒ 所管部

そのとおりである。

○黒石委員

企画提案の審査方法についての意見だが、単純な平均点計算では割り切れない議論というのはあったのか。

⇒ 所管部

今回、圧倒的な高得点を得た事業者はなく、参加事業者はいずれも一長一短あるという状況であった。

最優秀提案者には3名の委員が一位、他の2名の委員が二位に評価した。

○前山委員

審査会における事業者からの企画提案は、現時点で考えうる提案なので、必ずこれが100%一致しなくてもよいとはいえ、同等レベルのものを納品してもらう必要がある。東京都においても、実際の企画提案よりもレベルが低くなってしまうことがあるので、所管部において進行管理はしっかりとやっていく必要がある。

○川瀬委員長

付議案件について了承をいただいたが、今回は、企画提案者の優先順位を了承いただいたということでよいか。というのは、一位の提案者が何らかの理由で契約を辞退するなどしたときに、第二位の提案者、次に第三位の提案者と契約交渉をしていくことまでご了解いただいた方がよいと考えている。

⇒ 全委員了承

委員の主な意見
(要旨)